

The Expert



令和元年11月10日発行 ● No.121 ●

●メンタルヘルスセンター(精神神経科) 根本 隆洋 准教授(平成7年・慶應義塾大学卒)

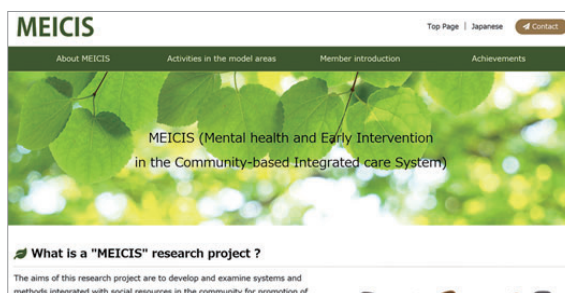
地域に根差した精神保健医療早期相談・介入システムの構築 —MEICISプロジェクト—

早期介入は医療の多くの領域において最大の関心事であり、メンタルヘルスにおいても、早期段階の介入は発症の予防や機能の低下防止につながると期待されます。近年、精神病性疾患から気分障害や不安症、摂食障害などにも対象を広げ、さらにはメンタルヘルスの維持とそのリスクへの早期対応へと展開をみせています。それは、早期介入の実践の場を地域へと移し推進していくことに他なりません。現在「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が各地で進められつつあります。精神障害者も包含した「地域共生社会」に寄与すると期待される一方で、認知症施策において「共生と予防」がその柱とされたように、本システムにおいても「共生」のみならず「予防」や「早期介入」といった概念の導入が、その継続・維持に必要です。

上述の背景をもとに、私たちは「地域特性に対応した精神保健医療サービスにおける早期相談・介入の方法と実施システム開発についての研究」と題する厚生労働科学研究費補助金による研究(研究代表者:根本隆洋)を本年度から開始しました。

“Mental health and Early Intervention in the Community-based Integrated care System”の頭文字をとり“MEICIS(メイシス)”とプロジェクトを名付け実践を進めています。本プロジェクトでは地域特性に着目し、本邦におけるそれを典型的に反映している、足立区、秋田県、所沢市、京浜地区の4地域を選定し、早期介入の社会実装について検討しています。7月から足立サイトにおいて、メンタルヘルス先進国豪州をモデルとした、若者のメンタルヘルスに関する相談サービス「SODA(Support with One-stop care on Demand for Adolescents and young adults in Adachi, ソーダ)」を開始しました。京浜地区においては、より使いやすい社会資源マップの作成や、同地区に多くおられる外国人居住者のメンタルヘルス対応にも取り組んでいます。MEICISのホームページ(<https://meicis.jp/>)を作成し随時情報を更新しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

今後とも、大森病院メンタルヘルスセンターおよびMEICISの取り組みに、ご理解とご支援を是非ともいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



MEICISのホームページ(<https://meicis.jp/>)。日本語版に加え、英語版も作成して世界に発信しています。



SODAのリーフレット。ホームページ(<https://soda.tokyoadachi.com/>)も作成しています。

●診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

医療機関専用電話 **パートナー**
03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)

●診療日

根本 隆洋 准教授:
初診:金曜日 午前
再診:水曜日 午前・午後



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元:地域医療支援センター

The Expert



令和元年11月10日発行 ● No.121 ●

● メンタルヘルスセンター(精神神経科) 大岡 美奈子 助教(平成19年・滋賀医科大学卒)

児童思春期精神医学：子どもの困難に寄り添う臨床医学の原点

私の専門分野は児童思春期精神医学です。児童思春期精神医学は、医学全体の中でいわゆる「マイナー」と称される専門科の中でもさらに特殊な分野です。その一方で、子どもとその家族の困っていることに寄り添い支援するという、臨床医学の原点のような分野でもあります。特殊な分野と申しましても高性能な医療機器や高度な技術は必要ありません。むしろ、普段の生活の中での家族関係、友人関係、学習、部活動、塾での様子など、子どもの生活全体を広く丁寧に聞き取っていくことが重要です。学校の先生や児童相談所の福祉司さんからお話を伺うこともあります。こうした面からは医学の中で最も地域社会とのつながりが大切な分野と言えます。外来では、4～16歳くらいまでの方を対象に、行動や発達の問題について医学的な側面から評価を行い、必要に応じて検査や治療、環境調整を行っております。疾患としましては、自閉スペクトラム症や注意欠如多動性障害（ADHD）に代表される発達障害圏や、分離不安障害、チック障害、夜尿症、強迫性障害、抜毛症、摂食障害、適応障害、身体表現性障害、全般性不安障害などの方が来院されます。医学的な診断名はなくても、いじめや不登校・ひきこもりなどから相談にみえる場合もあります。こうした場合は背景に医学的な原因がないかを調べることもあれば、いじめ・不登校・ひきこもりが長期的に続くことによって引き起こる二次的なうつ状態、不安、イライラ、昼夜逆転など生活リズムの乱れに対する治療を行うこともあります。子どもが困難な状態にあると家族の心理的負担も大きいので、家族に対する支援も重要視しております。

児童思春期精神科は地域との協働あってこそ、その力を最も発揮できる専門領域です。どんな小さな相談でも結構です。ぜひ先生方からのご依頼をお待ちしております。

プロフィール：2007年滋賀医科大学医学部卒。東京大学医学部附属病院で初期研修を修了した後、出産、子育てを経て2013年度より東邦大学医療センター精神神経医学講座へ入局。東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科でのレジデント研修等、主に児童思春期精神医学に関する研鑽を重ね、2018年度より同講座助教に就任。児童青年期精神医学会認定医／子どものこころ専門医。現在は東邦大学医療センター大森病院メンタルヘルス外来にて児童思春期の初診と子どもの心外来を担当している。

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

医療機関専用電話

パートナー

03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30～17:00、土曜 8:30～14:00)

(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)

● 診療日

大岡 美奈子 助教：
初診：木曜日 午前
再診：月曜日 午後



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター